

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	九州総合通信局			代表者名	中西 悦子
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	情報通信振興課	連絡先電話番号	096-326-7826
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	江寿浩文	連絡先E-mail	
住所	860-8795 熊本県熊本市西区春日2丁目10-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	地方局地域情報化アドバイザー会議
概要	地方局地域情報化アドバイザー会議（九州）での講演		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年10月17日	講演(実地)	13時00分	14時50分	
				活動時間（分）	110
2-2. 派遣場所	会場名	熊本地方合同庁舎A棟		最寄駅	熊本駅
	所在地	熊本県熊本市西区春日2丁目10-1		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	森戸氏は、地域情報化アドバイザーとして有数の派遣実績持っており、その実績からの講演は、各自治体における全庁をあげたDX推進体制作りの重要性が理解されたと考えます。またDX推進体制作りだけでなく、DXを推進させるノウハウ、地域における課題解決のポイント、シェアリングエコノミーによる事例紹介についても紹介されたことから参加者の理解と納得が深まったものと考えられる。アンケート回答においても「講演を聞いて、いままでのやり方で良いんだな、と感えて良かった。ありがとうございました。」との感想もあり、講演としても成功であったと感じています。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	77人
	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	75	0
		0	2
			0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	当局は、九州管内の地方自治体における地域情報化の支援を行っており、DXの推進にあたって課題となった事例はなかなか表面化されない現状であること。また、課題解決の成功事例については、九州管内の地方自治体の事例についての紹介が多くなる傾向となることから、全国的な成功事例を現場の声として知っていただく機会を設けることが少ない状況であることから、これらについてを問題点と考える。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	地方自治体において、地域でのデジタル化推進するために何が重要なのか。地域の問題の洗い出し手法及びそのポイントを抑えるためにはどのような手法があるのかを理解していただく。さらに課題解決事例について講演の一部とすることにより、地方自治体におけるデジタルに精通した人材育成への助言、さらに地域の問題解決手法の導入の加速化につなげていくことを成果とする。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	「超少子高齢化社会を迎えた地域での住民のWell-Beingを実現するDX計画とは？」をテーマに、各自治体の庁内における全庁をあげたDX推進体制制作りのノウハウ、地域における課題解決のポイント、シェアリングエコノミーの意義および活用事例についてご講演いただいた。住民に寄り添うサービスを提供するため、公助と自助の間にある「共助」を土台としたデジタル生活基盤の再構築が必要であることや、自治体において余力時間を作り出し、本来行政が行うべき業務に充てることで生産性を向上させていかなければならないということについて講演を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	当局において、DX推進の成功事例の紹介については九州管内の地方自治体の取組事例が多くなる傾向にあったが、派遣実績が多く広域的に活躍されるアドバイザーからの講演を聞くことで、全国的な成功事例を自治体職員に知っていただく機会を設けることができ、より広い視野でDXについて考えるきっかけとなった。加えて、「本来行政が行うべき業務に時間を充てるため、DXが必要である」という新しい視点からのアプローチを行うことによって、自治体職員の業務改善に対する機運醸成につなげることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 DXについて考えるきっかけを作り、その進め方や新しい視点からのアプローチを行うことによって、自治体職員の業務改善に対する機運醸成につなげることができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	内容については、特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 【質問項目：①講演会に参加した理由 ②講演会に対する評価 ③講演を受講後、変化した点 ④講演会の感想 ⑤今後講演会で取り上げて欲しいテーマ】 ②について、「非常に良かった」「良かった」と回答した者が全体の9割であったことや、「講演を聴いて今までのやり方で良いんだなと思って良かった」といった感想が見受けられたことから、講演内容についておおむね適切であったと考えられる。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他 今後についても、多様な手法を用い、地域におけるDXを推進するための啓発を行っていく。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	DX推進の第一人者である地域情報化アドバイザーによる本セミナーを通じて、全国的な成功事例と課題を整理し、地方自治体職員等および当局のスキルアップを図ること。本セミナーで習得した知識を地域住民の生活向上に寄与するデジタル化の計画推進に結びつけ、デジタルを使い問題解決しやすい土壌を生成すること。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

